令和７年度　第５回　牧の台地域協働交通検討部会連絡会

次第

日時：令和８年３月５日（木）
午後２時00分～
場所：川西市役所　地下１階B03会議室

１．タウンミーティング開催の報告

２．牧の台コミュニティ協議会の実施計画書について
【資料１】【資料２】

３．その他

（別記様式第１号）

作成日　令和８年３月５日
作成者　牧の台コミュニティ協議会
会長　植木　信嘉

事業実施計画書（案）

1. 事業名	**大和地域の移動サービス利用促進・活性化事業**
2. 事業実施予定期間	令和８年４月１日 から 令和９年３月３１日
3. 事業の具体的な計画内容	・無料乗車等の企画乗車券の発行 ・大和循環バス無料 Day の実施 ・ノベルティ作成やイベントの企画・実施 ・啓発物の配布 ・学識者による勉強会や講演会・ワークショップ開催
4. 期待する事業実施効果	若年層を含む大和地域住民全体の積極的なバス利用と大和地域の『将来の移動サービス』についての意識を醸成し、大和地域を活性化させる。
5. 効果検証の方法	・乗降者数のデータを活用し、利用者の推移を検証 ・アンケートを実施し、地域住民の意識変化を検証

かわにし新時代へ

資料２

地域の移動課題対策支援事業

(牧の台地域)

川西市
Kawanishi City

これまでの経緯について

▶前回会議（R7年度第２回地域公共交通会議）までの経緯

●**令和７年５月15日**　【令和７年度第１回 地域公共交通会議（書面）】を開催

⇒牧の台コミュニティを支援地区に決定

●**令和７年６月３日**　【令和７年度第１回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会】を開催

⇒会長の選任・部会設置の目的や進め方、目標数値などについて協議

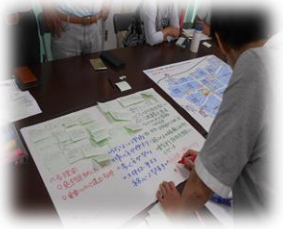
●**令和７年７月15日**　【令和７年度第２回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会】を開催

⇒バス運行にかかる経費や目標数値、ワークショップなどについて協議

●**令和７年９月５日**　【ワークショップの開催】

⇒『大和バスの利用促進について』というトークテーマでワークショップを開催。バス利用者を維持・増加させるため、地域住民同士で意見交換を実施。

※ワークショップの様子



●**令和７年９月17日**　【令和７年度第３回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会】を開催

⇒ワークショップでの意見のとりまとめや、利用促進に向けた実施計画について協議

●**令和７年10月８日**　【令和７年度第２回 地域公共交通会議】を開催

⇒バス運行にかかる目標数値の指標を『輸送人員』から『実利用者数』へ変更することについて協議し承認を得る。

これまでの経緯について

▶本会議（R7年度第３回地域公共交通会議）までの経緯

●令和７年12月１９日

⇒令和７年１２月議会で、平野山下線・大和団地線の前期運行期間（令和８年４月～令和11年３月）の３年間の運行にかかる補助金の補正予算案（債務負担行為）を上程し、議会の承認を得る。

●令和８年1月15日　【令和７年度第４回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会】を開催

⇒１２月議会で議会の承認を得た上で、令和11年度以降のバス運行方針を決定するためのバス運行方針（案）や、地域主体で実施する『実施計画』について協議をおこなった。

【主な意見】

(1) 令和11年度のバス運行方針（案）について

⇒部会は、バスの運行を継続するにはどんな取組みが必要かという事を議論するもの。
牧の台地域はこれまでの経緯もあり、運行ルールを地域公共交通会議の協議事項とする事は吝かではない。

⇒目標数値の達成が中心的な主な議論ではなく、将来の移動サービスについて、若い世代のためにも今から議論することが重要である。

(2) 牧の台コミュニティ協議会の実施計画書について

⇒事業計画については、「何を実施する」⇒それによって「何がどうなる」⇒「評価」
(計画の再検討あるいは効果的対策の実施の検討)となる。

⇒実施計画には、「将来の移動サービスの検討」や「若年層を対象にしたワークショップの開催」を加える必要があるのではないか。本来は、目的があって、その目的のためにどのような取組をするのか、その結果(効果)を踏まえて次のステップは何かというという流れになる。

これまでの経緯について

●**令和８年２月２３日**【市長のタウンミーティング】を開催

⇒令和１１年４月以降の平野山下線・大和団地線の運行方針を決める『運行方針（案）』について市長と地域住民の方々が意見交換を行った。４５名の方が参加され、『持続可能な大和バスを運行するために』様々な意見交換を実施した。

※タウンミーティングのチラシ　※当日の様子

●**令和８年３月５日**【令和７年度第５回 牧の台地域協働交通検討部会連絡会】を開催

開催結果を記載

協議事項　令和11年度以降の平野山下線・大和団地線の運行方針（案）について

運行方針（案）の概要について

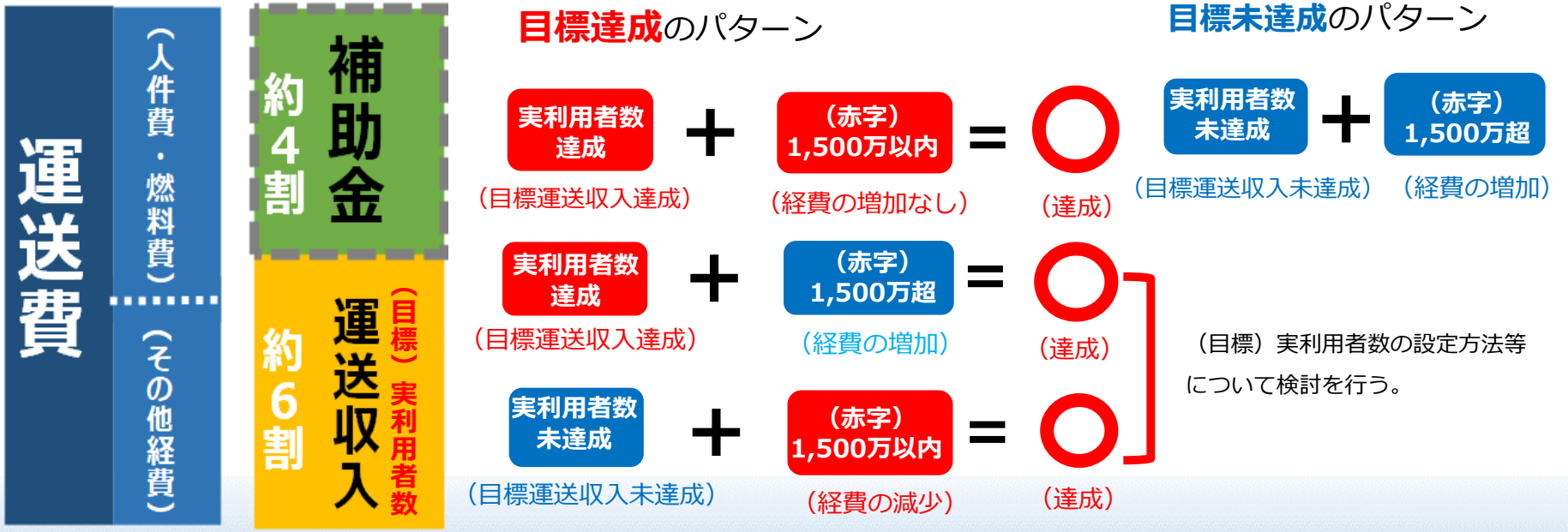
令和８年度～令和10年度は毎年度（目標）実利用者数を設定し、目標の達成状況をみて令和11年４月以降の運行方針を決定。

- **２年連続目標達成**すれば、令和11年度以降も現在のバス運行を維持する。
- **２年連続目標未達成**であれば、令和11年度以降のバス運行を見直す。

※２年間で目標達成など判断ができない場合
２年連続目標達成、または未達成になるまでバス運行を１年延長する。

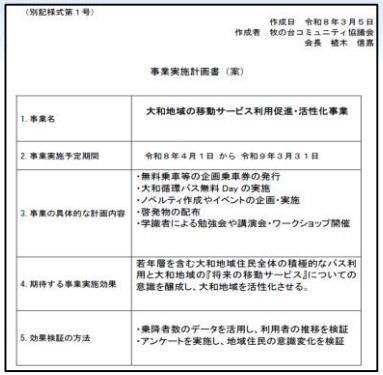
・延長期限は、総合計画・川西市公共交通計画期間であるR13年度までとする。

※（目標）実利用者数と補助金のイメージ図



協議事項 牧の台コミュニティ協議会実施計画（案）について

※【参考資料３】を参照



（別記様式第１号）

作成日　令和８年３月５日
作成者　牧の台コミュニティ協議会
会長　植木　信嘉

事業実施計画書（案）

1. 事業名	大和地域の移動サービス利用促進・活性化事業
2. 事業実施予定期間	令和８年４月１日 から 令和９年３月３１日
3. 事業の具体的な計画内容	・無料乗車等の企画乗車券の発行 ・大和循環バス無料 Day の実施 ・ノベルティ作成やイベントの企画・実施 ・啓発物の配布 ・学識者による勉強会や講演会・ワークショップ開催
4. 期待する事業実施効果	若年層を含む大和地域住民全体の積極的なバス利用と大和地域の『将来の移動サービス』についての意識を醸成し、大和地域を活性化させる。
5. 効果検証の方法	・乗降者数のデータを活用し、利用者の推移を検証 ・アンケートを実施し、地域住民の意識変化を検証

１．牧の台コミュニティ協議会の実施計画（案）の概要

【事業名】大和循環バス利用促進・移動サービス活性化事業

【目的】

«１» 大和循環バスの利用者を増やし、『持続可能な運行』を実現すること。

« ２ » 将来の大和地域の交通について若年層も含め大和地域住民全体の意識を醸成させること。

【取組み内容（案）】

・無料乗車券などの企画乗車券の発行や、バス無料Dayを実施するなど積極的なバス利用を促進。

・バスの利用促進を促すノベルティ（横断幕やのぼりなど）の作成や、イベント開催の企画・実施。

・バスの利用促進を促すチラシや啓発物を地域住民へ配布。

・学識者による勉強会や講演会・ワークショップなどを開催し、若年層へ積極的に参加を呼び掛ける。

【期待する効果】

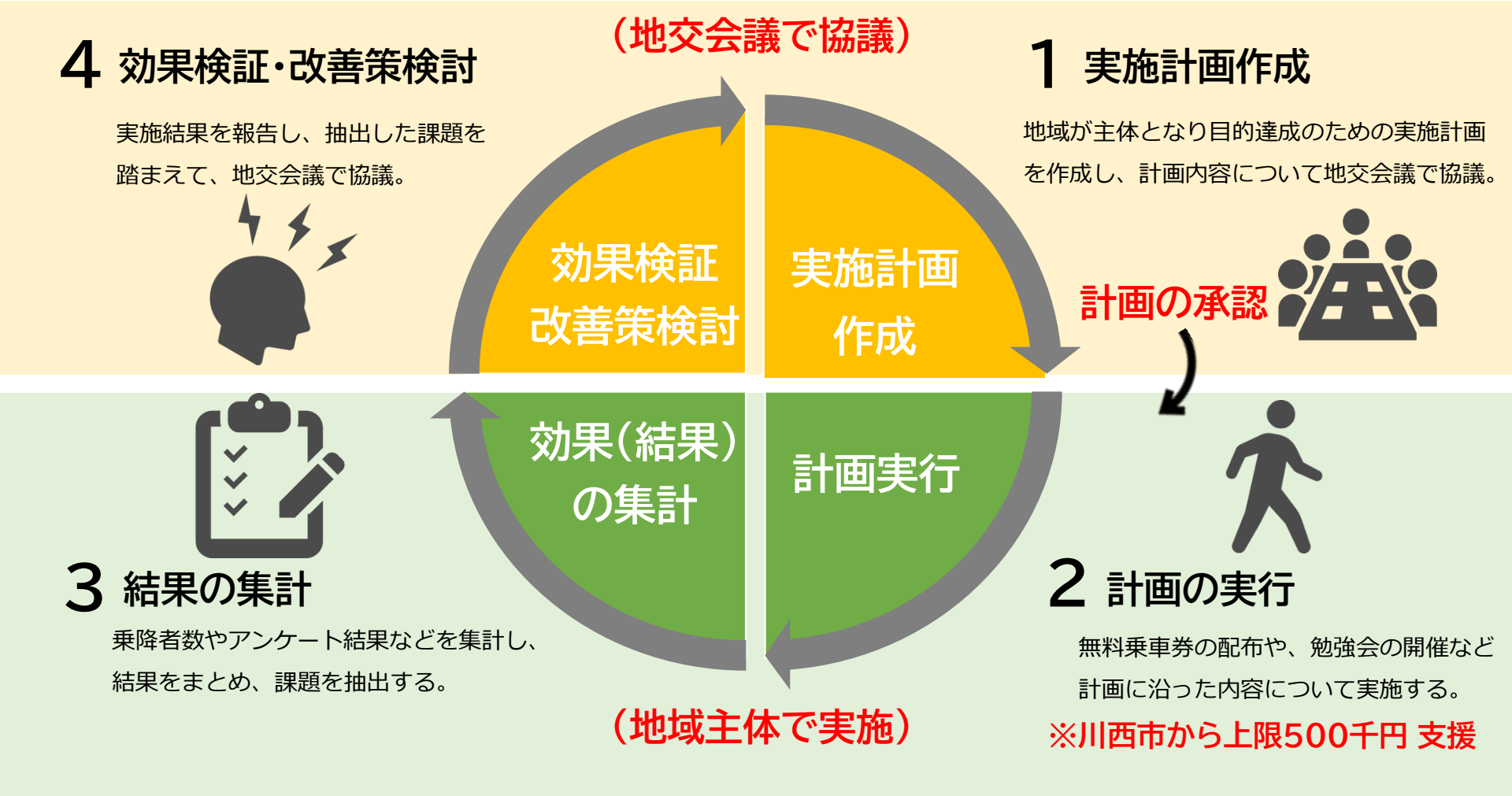
・若年層を含む大和地域住民全体の積極的なバス利用と,大和地域の『将来の移動サービス』についての意識の醸成を図る。

【効果検証の方法】

・乗降車数のデータなどを活用しバス利用者数が増加しているかどうか検証する。

・アンケートを実施し、地域住民の意識変化を調査・分析し効果を検証する。

2．今後のすすめ方

⇒承認いただいた実施計画の内容に基づき、地域住民が主体となり計画内容を実施。
実施後、効果（結果）を集計し課題の抽出を行い、次年度に向けた改善策の検討などを地交会議で協議・検討を行う。

※イメージ図